

開講科目名 / Course	精神看護学演習	
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	影山 隆之	
担当教員名 / Instructor	後藤 成人、影山 隆之、杉本 圭以子	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	演習	
授業回数	15	
科目の目的と概要	精神疾患を持つ人の全体的な理解と看護過程の展開の具体的方法、精神保健医療福祉の現状を学ぶ。	
到達目標	1. オレム・アンダーウッド理論とストレングスモデルを活用し、精神科での看護過程の展開ができる。 2. 精神保健医療福祉の現状について述べるができる。	
DPとの対応	1.心豊かな人間性・倫理観、2.科学的思考力、3.看護の基盤となる専門知識・技能、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性	
授業計画	01. 精神看護学における看護過程（1）：紙上事例1の看護過程の展開（アセスメント） 02. 精神看護学における看護過程（2）：紙上事例1の看護過程の展開（ケアプラン） 03. 精神看護学における看護過程（3）：紙上事例1の看護過程の展開（振り返り） 04. 精神看護学における看護過程（4）：紙上事例2の看護過程の展開（アセスメント） 05. 精神看護学における看護過程（5）：紙上事例2の看護過程の展開（ケアプラン） 06. 精神看護学における看護過程（6）：紙上事例2の看護過程の展開（振り返り） 07. 精神科で活用できる看護技術（1）：セルフマネジメント、ストレングスモデル、プロセスレコード 08. 精神科で活用できる看護技術（2）：フィジカルアセスメントの方法と実践 09. 症状別看護実践（1）：臨床で遭遇しやすい症状への看護ケアの事例演習（水中毒、自殺念慮など） 10. 症状別看護実践（2）：臨床で遭遇しやすい症状への看護ケアの事例演習（依存症など） 11. 精神保健医療福祉を取り巻く現状（1）：精神科病院における看護の実際 12. 精神保健医療福祉を取り巻く現状（2）：障害福祉サービスの活動の実際 13-15. 障害福祉サービス事業所の見学と説明 外部講師の都合により授業の順序を変更する可能性がある。	
その他の授業の工夫	紙上事例の看護過程の展開や症状別看護実践では、単なるレポートや講義で終了するのではなく、学生同士がお互いに考えた事、調べた事をディスカッションできるよう、適宜アクティブラーニングを取り入れながら行う。また、外部講師の講演により、精神保健医療福祉の現状をより現実的に学ぶことができるようにしている。	
時間外学修	紙上事例の看護過程の展開について、事前学修や演習の時間内で終了しなかったものは時間外学修となる場合がある（12h）。	
評価方法と評価割合	出席は原則100%とする。 紙上事例の看護過程の展開のうち、個人で行うレポートの内容・・・・・・・・・・60% 看護過程の展開と症状別看護実践におけるディスカッションへの参加状況・・・・30% 外部講師の講義や事業所見学時の態度・・・・・・・・・・・・・・・・・・10%	
テキスト	新体系看護学全書 精神看護学1 精神看護学概論 精神保健（メヂカルフレンド社） 新体系看護学全書 精神看護学2 精神障害を持つ人の看護（メヂカルフレンド社）	
参考書	系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2]（医学書院） 精神看護学 臨床で活かすケア ころこ・からだ・かかわりのプラクティス（南江堂） 看護実践のための根拠がわかる精神看護技術（メヂカルフレンド社）	
履修する上で必要な要件	精神看護学概論、精神看護援助論を履修済みであること。	
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	影山隆之：離島の病院の精神科における訪問診療 杉本圭以子：精神科病院、クリニックでの看護師としての経験 後藤成人：精神科病院での看護師としての経験
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	有

	内容	<b>【外部講師】</b> 精神科病院の看護師としての経験 精神科病院の管理職者としての経験 精神障害者を地域で支援する福祉施設の職員としての経験 精神障害をもつ当事者としての体験
実務経験をいかした教育内容	上記の勤務経験を活かし、精神障害を有する人々への具体的な看護過程の展開や看護ケアの方法、支援の在り方などについて伝える。	